

建築研究所ニュース



平成21年 3月9日

開発途上国の庶民住宅（枠組み組積造）の耐震性向上に 関する国際ビデオワークショップ開催のお知らせ

開発途上国の庶民住宅の倒壊は、膨大な死傷者を発生させている主な原因となっています。その典型的な工法である**枠組み組積造**について、建築研究所は、防災科学技術研究所、三重大学、政策研究大学院大学などと協力しながら、振動台実験、現地実態調査などを積み重ねてきました。今回、それらの成果の共有と耐震性向上方策について検討するため**国際ビデオワークショップ**を、別紙のとおり**3月23日（月）**に開催します。ワークショップでは、一連の**実大試験体の振動台実験**（2007年12月及び2008年7月：防災科学技術研究所、2008年12月：ペルーカトリカ大学）、9タイプの**壁体試験体の繰り返し加力実験**、現地の**建設実態調査**が報告されます。また、共同研究を行ってきている**インドネシア、ネパール、パキスタン、トルコ**における**枠組み組積造**についての報告も行われます。なお、この講演会は、世界銀行のビデオ会議システムを利用して、日本（東京都千代田区・世界銀行東京開発ターニングセンター）の主会場と上記の**アジアの4ヶ国の副会場**を結んで開催することにしています。多くの皆様の参加を期待しています。（申し込みは、添付の「参加登録票」をお願いします。）

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所

国際協力審議役

氏名 榎府 龍雄

電話 029-879-0689 （直通）

E-mail narafu@kenken.go.jp

枠組み組積造の耐震性向上に関する国際ビデオワークショップ 2009 の開催案内

＜振動台実験結果、壁体繰り返し加力実験結果、現地建設状況調査報告を中心に＞

1. 趣旨

ノンエンジニアドとも呼ばれる庶民住宅についてはこれまで十分な工学的な研究開発が行われておらず、耐震化工法についても十分な成果は得られていない。こうしたことが、2008年5月12日中国四川省地震をはじめとして毎年起こる甚大な地震被害に繋がっていると考えられる。

建築研究所は、その中でも世界中に広く一般的に見られる、枠組み組積造（レンガ壁の周囲を小さな断面の鉄筋コンクリート部材で囲った構造。コンファインドメーソンリーとも呼ばれている。）について、連携機関と協力しながら、下記のとおり実験、フィールド調査などを積み重ねて来ている。今般、これらの成果の共有とそれに基づく安全性向上方策について、世界各国の研究者、実務者と検討を行うためビデオワークショップを開催する。開発途上国の防災に関心をお持ちの諸兄の参加を期待している。

* 枠組み組積造に関するこれまでの主要な取り組み

- ・ 振動台実験：2008年7月つくば市防災科学技術研究所振動台実験（1体）
2008年12月ペルーカトリカ大学振動台実験（3体）

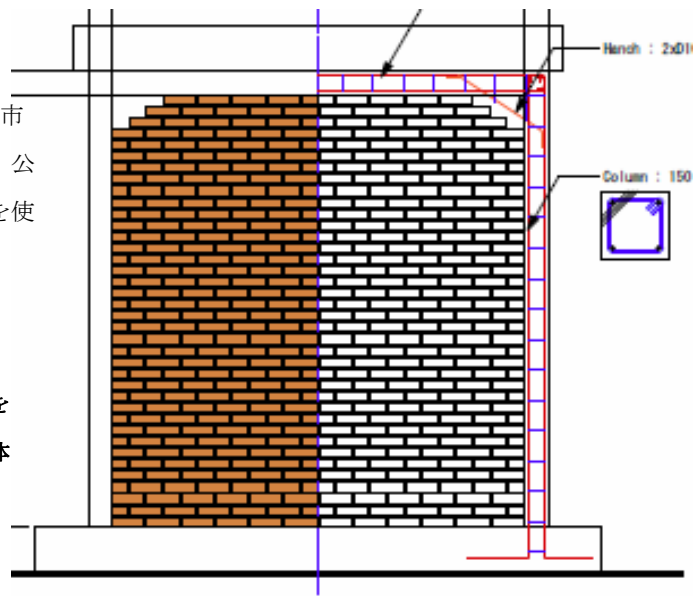


2008年7月防災科学技術研究所における振動台実験

- ・ 壁体試験体の繰り返し加力実験：
2009年2月インドネシア、バンドン市において、バンドン工科大学により、公共事業省人間居住研究所の実験施設を使用して実施（9体）

＜試験体の例＞

破断することの多い梁と柱の接合部を
補強する提案を検証するための試験体



・日本人技術者による、現地の職人による建設作業の実態把握のための現地モニタリング調査：

2007年度において、インドネシア及びペルーの事例について実施（各3ヶ月間）



インドネシアにおけるノンエンジニアド住宅の建設の状況

* これまでの庶民住宅の地震被害軽減の研究の概略

建築研究所では、2005年度より開発途上国の庶民住宅の地震被害軽減のための研究に取り組み、2006年度からは文部科学省科学技術振興調整費を得て、防災科学技術研究所、三重大学、政策研究大学院大学をはじめとする多くの研究者の参加を得てこの課題に取り組んできている。その流れの中で、節目毎に国際ビデオワークショップを開催（概要は、下記ホームページ参照）するとともに、2008年11月には、連携機関との共催により2日間の国際シンポジウムを開催した。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/ws2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2006/index.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2007/index.htm>

2. 日時 2009年3月23日（月）午後4～9時（日本時間）

3. 主催者等 建築研究所

協力：防災科学技術研究所、三重大学、政策研究大学院大学、
国連地域開発センター（UNCRD）、国際協力機構（JICA）
世界銀行東京開発ラーニング・センター（TDLC）
国連国際防災戦略事務局（UN/ISDR）
国連教育科学文化機関（UNESCO）

4. 会場

下記の5ヶ国を世界銀行グローバル・ディスタンス・ラーニング・ネットワークのビデオ会議システムで繋いで実施する。

主会場：世界銀行東京開発ラーニングセンター（東京都千代田区内幸町、富国生命ビル）

<別添地図参照>

サブ会場（予定）

国内サブ会場：建築研究所（つくば市）

海外サブ会場：インドネシア（ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ）

ネパール（カトマンズ）

パキスタン（イスラマバード、ペシャワール）

トルコ（イスタンブール、アンカラ）

5. ウェブ・ストリーミング・サービス

世界各地からのインターネット接続により、ワークショップの視聴が可能です。

希望される方は、下記 10 により**申し込み登録**してください。**開催日の数日前に**、メールにて**アドレスを連絡**させていただきます。

6. 議事次第

時刻（説明時間+Q&A）

進行：建築研究所 榎府龍雄

16:00(5) 接続状況確認、開会（趣旨、次第確認）

建築研究所 榎府龍雄

16:05(20) 2008年7月振動台実験（つくば市 防災科学技術研究所）結果の概要

三重大学 花里利一

16:25(20) 2009年12月震動台実験（ペルー カトリカ大学振動台）結果の概要

防災科学技術研究所 箕輪親宏

16:45(20) 振動台実験の画像計測手法の概要と計測結果の概要

東京電機大学 新津靖

17:05(10) 震動大実験結果についてのコメント（モルタル強度）

建築研究所 榎府龍雄

17:15(10) 意見交換

17:25(15) ネパールにおける枠組み組積造について

ネパール工科大学 ジシュヌ・スベディ

17:40(15) パキスタンにおける枠組み組積造について

ペシャワール工科大学 カイザル・アリ

17:55(15) トルコにおける枠組み組積造について

中東工科大学 アフメッド・トゥレー、アルトゥグ・エルベリック

18:10(15) ペルーにおける枠組み組積造の建設の実態（現地モニタリング報告）

NPO 法人都市計画・建築関連 OV の会(EVAA) 松崎志津子

18:25(10) 意見交換

18:35(15) 休憩

18:50(15) （予定）インドネシアにおける枠組み組積造について

テディ・ブン

19:05(15) インドネシアにおける枠組み組積造の建設の実態（現地モニタリング報告）

NPO 法人都市計画・建築関連 OV の会(EVAA) 迫田恵子

19:20(15) 枠組み組積造の実践的な耐震性向上のための提案

建築研究所 今井弘

- 19:35 (20) 枠組み組積造壁体の繰り返し水平加力実験 (インドネシア 公共事業省人居住研究所実験施設による) 公共事業省人間居住研究所 ワヒュー・ウルヤンティ
- 19:55(20) 枠組み組積造壁体の繰り返し加力実験結果の解析の概要
バンドン工科大学 ディア・クスマストゥティ
- 20:15(10) 枠組み組積造壁体の繰り返し加力実験についての考察
在インドネシア JICA 長期専門家 白川和司
- 20:25(15) ガジャマダ大学で実施した枠組み組積造壁体の繰り返し加力実験の概要
ガジャマダ大学 イマン・サトヤルノ
- 20:40(10) 意見交換
- 20:50(10) 科学技術振興調整費の研究開発活動とその展開
北海道大学名誉教授・研究運営委員会委員長 石山祐二
- 21:00 閉会

6. 言語

日本語及び英語 (日英の同時通訳を行います)

7. その他

東京主会場では飲み物、スナックを用意します。

8. 参加の登録

参加を希望する方は、下記により、本案内に添付されている登録票をメール又はファックスにより建築研究所に **2009年3月16日(月)**まで送付し、参加登録をお願いします。

メールアドレス: tokyo-2009@kenken.go.jp

ファックス: 029-864-2989

<問い合わせ: 029-864-6641 (荒金又は今井)>

9. 添付資料

- ・参加登録票
- ・主会場地図 (東京開発ラーニング・センター、建築研究所)、インドネシア副会場地図 (JICA ジャカルタ事務所、バンドン工科大学)、ネパール副会場地図 (JICA ネパール事務所)、パキスタン副会場地図 (JICA パキスタン事務所、ペシャワール工科大学)、トルコ副会場地図 (JICA トルコ事務所)

枠組み組積造の耐震性向上に関する国際ビデオワークショップ 2009
International Video Workshop 2009 on Safer Housing
focusing on Confined Masonry Structures

2009(平成 21)年 3 月 23 日

March 23, 2009

開催場所 Venue:

世界銀行東京開発ラーニングセンターTokyo Development Learning Center (TDLC), The World Bank

住所 Address:

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 10 階

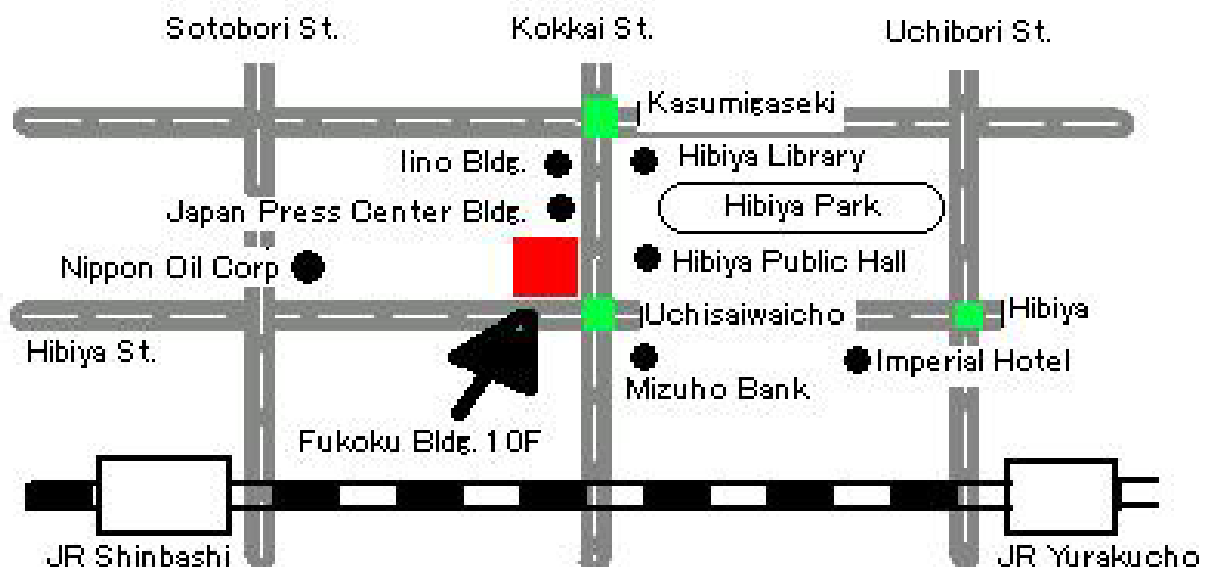
10F, Fukokuseimei Bld., 2-2-2 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011

電話 Tel: 03-3597-6650(代表)

FAX: 03-3597-6695

交通 Transportation

- ・JR 山手線、京浜東北線 新橋駅 日比谷口 (JR Yamanote Line, Keihin Tohoku Line Shimbashi Station, Hibiya Exit)
- ・地下鉄 都営三田線 内幸町駅 A6 直結 (Subway Toei Mita Line Uchisaiwaicho Station, Exit A6)
- ・地下鉄 千代田線 霞ヶ関駅 C4 出口 (Subway Chiyoda Line Kasumigaseki, Exit C4)
- ・地下鉄 日比谷線 霞ヶ関駅 C4 出口 (Subway Hibiya Line Kasumigaseki, Exit C4)
- ・地下鉄 丸の内線 霞ヶ関駅 B2 出口 (Subway Marunouchi Line, Kasumigaseki, Exit B2)

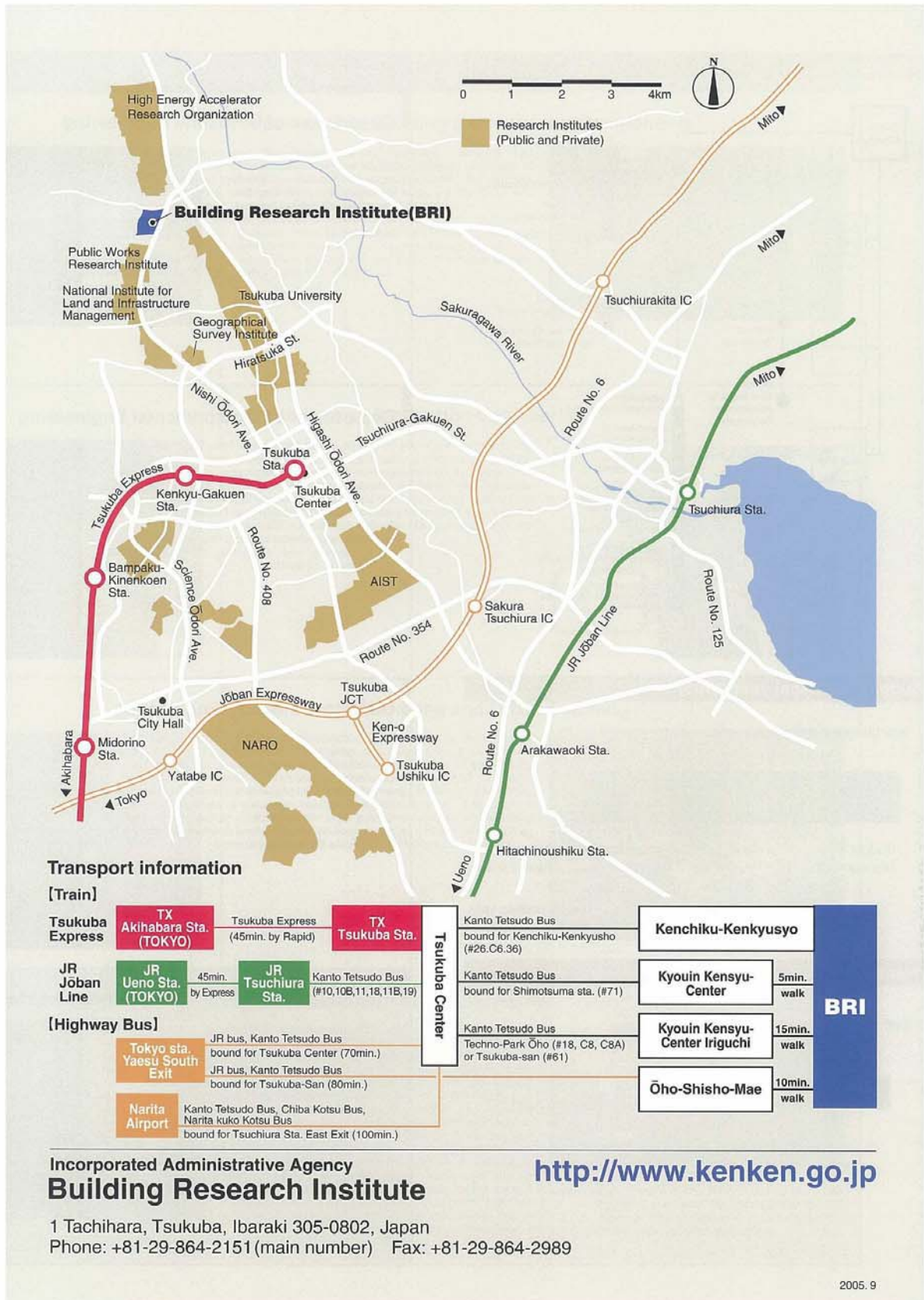


Building Research Institute (BRI)

1 Tachihara, Tsukuba city, Ibaraki, 305-0802

MapURL: <http://www.kenken.go.jp/english/information/information/transport/access.html>

Contact person: Taiki Saito (tsaito@kenken.go.jp) Tel: +81-29-864-6751



参加登録票 Registration Form

枠組み組積造の耐震性向上に関する国際ビデオワークショップ 2009
International Video Workshop 2009 on Safer Housing focusing on
Confined Masonry Structures

1. 称号 Dr. Mr. Ms. Others ()
2. 苗字 (英語併記)
3. 名 (英語併記)
4. 所属機関 (英語併記)
5. 所属部署 (英語併記)
6. メールアドレス (確実に連絡できるもの)
7. 住所 (確実に連絡できるもの)
8. 電話、ファックス番号 (確実に連絡できるもの)
9. 都市名、郵便番号、国名
10. 参加希望 (参加のタイプ (会場又はウェブ・ストリーミング)、会場名の不要な文字を削除してください)

○ 会場での参加

日本： 東京 つくば
インドネシア： ジャカルタ バンドン ジョクジャカルタ
ネパール： カトマンズ
パキスタン： イスラマバード ペシャワール
トルコ： イスタンブール アンカラ

○ ウェブ・ストリーミング・サービスによる参加

E-mail address: tokyo-2009@kenken.go.jp

Facsimile: 029-864-2989 問い合わせ(電話): 029-864-6641 (荒金、今井)